

(1)事業の概要等

事業番号	B0904-5
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和4年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	老人クラブ支援事業					担当部			福祉部		
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和6年度以降		担当課			地域包括ケア推進課			
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	9	展開方向	4	担当係			長寿福祉係		
	予算区分	一般会計	款	3	項	2	目	1	大	5	中	2
	根拠法令・個別計画	小牧市老人クラブ連合会運営要綱、小牧市老人クラブ運営要綱、小牧市老人クラブ育成事業費補助金交付要綱					事業種別			一般事業		
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	老人クラブ活動に対して支援を行うことにより、高齢者が家庭や地域社会等の中で豊かな経験と知識・技能を活かし、地域への参加と協力を行い、生きがいと社会参加を促進するとともに、地域における見守り支え合い活動の充実を図る。										
	対象 (何・誰を対象に)	60歳以上の市民で構成される老人クラブ										
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>◆令和3年度実施内容 老人クラブの社会福祉活動、生きがいを高めるための各種活動及び健康づくりに係る各種活動について、老人クラブ連合会及び各地域の単位老人クラブに補助金を交付した。</p> <p>◆令和3年度実績 老人クラブ連合会補助金 2,494,900円 単位老人クラブ活動事業費補助金 2,813,400円(64クラブ)</p> <p>◆直接経費(令和3年度決算額) 補助金 5,309千円 ・老人クラブ連合会補助金 (補助対象事業)特別事業、一般事業 (補助金額)2,494,900円 ・単位老人クラブ活動事業費補助金 (補助対象事業)老人クラブ活動事業 (補助金額)2,813,400円(64クラブ)</p> <p>◆直接経費(令和4年度予算額) 需用費 25千円 補助金 6,813千円 ・老人クラブ連合会補助金 (補助対象事業)特別事業、一般事業、老人クラブ指導者養成講座事業、老人クラブ大会参加者送迎用バス借上 (補助金額)3,575,000円 ・単位老人クラブ活動事業費補助金 (補助対象事業)老人クラブ活動事業 (補助金額)2,820,000円(64クラブ)</p>										
受益者負担	無											

(2)事業費

事業費	項目	単位等	H30	R1	R2	R3	R4		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	6,521	5,793
			国・県支出金	千円	—	1,057	1,094	1,088	
			その他	千円					
			計(A)	千円	6,521	6,850	4,879	5,309	
			対前年比	%	—	5	△ 28	8	
			予算額	千円	7,459	7,226	7,074	6,838	6,420
	人件費		正規職員	人					
			正規職員(平均賃金)	千円	0	0	0	0	
			その他職員	人	1	1	1	1	
			その他職員(時給×時間)	千円	2,619	2,619	1,756	1,772	
			計(B)	千円	2,619	2,619	1,756	1,772	
	事業費合計(C=A+B)			千円	9,140	9,469	6,635	7,081	

(3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	9	展開方向		4
指標名	単位	方向性	基準値	R1	R2	R3	R4
1	老人クラブ会員数	人	↗	4,688	4,502	4,288	4,035
2							
3							

指標	指標ほか		単位		H30	R1	R2	R3	R4
	成果指標	老人クラブ会員数	人	目標	4,688	4,688	4,688	4,688	4,688
				実績	4,688	4,502	4,288	4,035	
				目標					
				実績					
	活動指標	老人クラブ数	団体	目標	69	69	69	69	69
				実績	69	70	68	64	
				目標					
				実績					
	単 事 業 あ た り	受益者数(a)		人	4688	4,502	4,288	4,035	
受益者あたり事業費 (=C/a)		円	1,949	2,103	1,547	1,754			

(4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>○高齢者の人数は増加傾向であるが、会員の高齢化及び役員のなり手不足により、老人クラブの登録団体及び会員数が減少傾向にある。</p> <p>○単位老人クラブの構成要件を20人以上としているが、動向を見据えて補助基準の見直しをしていく必要がある。</p> <p>○地域における見守り、支え合いの役割を担う団体であることから、引き続き各種活動に対する支援及び啓発を継続的に行う必要がある。</p>					
	今後の実施内容	<p>○高齢者が集まるイベント等で、機会を捉えて広報誌等を配布するなどし、加入促進を図る。</p> <p>○老人クラブ連合会と意見交換しながら、会員増加の取り組みを検討していく。</p>					
	事務事業評価による額	千円	節	細節	細々節		